

アスワメクラチビゴミムシ

Trechiana sasajii S. Uéno
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県固有種。1980年の原記載以来30年以上再確認されていなかったが、2015年に再確認された。生息密度、生態に関する情報は不足しており、今後も注視が必要である。

分布

本県固有種で、福井市足羽山の七尾口坑のみで知られる。当地はもと筈谷石の採掘が行われていた廃坑で、現在は閉鎖されている。

種の特徴

体長約5mm。近縁種の中では大型。透けたアメ色で、複眼と後翅は退化している。ヨシメクラチビゴミムシ種群に属する。本種群は30種以上になり、識別は雄交尾器と体毛配列による。地中また洞窟性。1、3、4、6、9、11月に採集されており、成虫は通年みられると推測される。

生息を脅かす要因

生息地の廃坑は閉鎖されており、環境の極度な変化はないと考えられることから本種は保存されていると期待される。しかし、一般的な採集では得づらく、生息状況を把握するには情報が不足している。詳細な生態の解明を含め、さらなる調査が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県自然環境保全調査研究会（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

チョウセンゴモクムシ

Harpalus crates Bates
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

関東地方を中心に絶滅が危惧されている。本県でも1987年以降の記録がない。

分布

本州、九州に分布する。

種の特徴

体長15mm内外。本属には極めて類似した種類が多く、専門家の同定を必要とする。平地～低山地の河川敷や湿地に生息し、メドハギの種子を食するという（森，2012）。

生息を脅かす要因

県内の情報が少ない。近年は河川敷や湿地は急速に開発が進んでおり、本種には大いに脅威となる。特にメドハギは雑草として扱われるが、本種の生態には必要な植生である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、森（2012）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○								

スナハラゴミムシ

Diplocheila elongata (Bates)
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

本県では1984年以降の記録がない。河川敷の草地のように人為的改変を受けやすい環境を生息地とし、全国的に絶滅のおそれが高まっている。本県でも注視が必要である。

分布

本州～九州に分布する。本県では高浜町音海の海岸線の灯火に飛来したものが得られた。恐らく少なくはないと思われる。

種の特徴

体長約23mm。大型のゴミムシで長形、両側は平行。光沢のある黒色。前胸の後角に深い窪みがある。平地～低山地の河川敷に生息し、灯火にも飛来する。

生息を脅かす要因

県内の情報が少ない。近年は河川敷や湿地は急速に開発が進んでおり、本種には大きな脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○														